

門も塀もない杉十小で  
子どもたちの  
安全を守るために

杉十小

あんぜん  
レンジャー



AN(あん)レンジャー



ZEN(ぜん)レンジャー

10の  
ポイント



# 門も塀もない杉十小で 子どもたちの安全を守るために

杉並第十小学校は蚕糸の森公園の中にある学校です。四季折々の蚕糸の森公園の木々が美しく、季節の移り変わりを直に感じながら学校生活を送ることができる素晴らしい環境です。でも、門も塀もない学校で子どもたちの安全を守るには、実はたくさんの工夫をしているのです。門も塀もない学校で子どもたちの安全を守るために、杉十小ではどんな工夫をしているのでしょうか。



杉十小の「安全」を守る工夫をANとZENが10こ紹介するよ!

## 1 公園側で警備員が守っているよ。

学校に子どもがいるときは、警備員が2人で守っています。一人は公園側において、主に校庭で子どもたちの安全を見守っています。原則として平日の8時～16時は、校庭は学校関係者以外立ち入り禁止となっています。そのルールをご存知ない方には、警備員が校庭に入らないように声をかけています。



## 2 教職員が守っているよ。

休み時間に子どもたちが校庭で遊ぶときは、看護当番の教員が朝礼台から見守っています。何かあったときにはすくに知らせることができるように、教職員は常にホイッスルを身に付けています。



## 3 子どもたち自身が守っているよ。

杉十小の子どもたちは、自分たちの学校が安全ではないとは思っていません。必要以上に不安に思うことなく、元気にのびのびと生活しています。けれども、さまざまな設定の不審者対応訓練を行い、万一の時のために備えています。

杉十小の登校時刻は8時15分～8時20分です。以前は、早めに登校した子どもたちがサブグラウンドに並んで待っていました。けれども、多数の児童が外で待っている状況が安全ではないことから、8時5分に昇降口のドアを開け、子どもたちは校舎内で学年毎に並んで待つことにしました。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、校舎内に並んで待つことはせず、直接教室に入るようにしています。

子どもたち自身が守っているんだね!



## 5 地域や保護者の方々を守っているよ。

毎日子どもたちが登校する時間帯に、和田3丁目西町会の「おしいちゃんおはあちゃんの児童登校見守り隊」の皆様が黄緑色のベストを着て通学路のところどころに立って、子どもたちの安全を見守ってくださっています。この取組は8年以上続けられていることです。和田3丁目東町会の皆様は黄色いベストを着て、梅里1丁目町会の皆様はピンクのベストを着て立ってくださっています。

月に1回は杉並警察署と連携した登校見守りの日があります。この日は7時45分から、警察・町会・学校・保護者で子どもたちの安全を見守ります。杉十小PTAでは「一緒に登下校ウィーク」を設定して、子どもたちの安全を守っています。



## 4 防犯カメラが守っているよ。

杉十小や杉十小周辺には、他校より数多くの防犯カメラが設置されています。



## 6 花壇が守っているよ。

杉十小の花壇は、杉十小PTAの方々がお花壇当番を担い、水やりや草とりなどの管理をしてくださっています。杉並区役所みどり公園課から季節の花を届けていただき、5月、9月、12月の年3回、植え替えています。2年生の子どもたちが蚕糸の森研究所「花だん研究室」での学びを生かして、花を選んだり、花壇のデザインをしたりもしています。このことは、日常的に花壇の世話をしている人がいることが、門も塀もない杉十小の子どもたちの安全を守ることにつながるという考え方で、長い間続いてきていることです。



## 8 入口側から警備員が守っているよ。

もう一人の警備員は入口側にいます。警備員は登校時刻の前から下校時刻の後まで学校の入り口近くにおいて、子どもたちの安全を守っています。子どもたちとはもちろん、通行する方々とも挨拶を交わしています。

8時から16時までは学校関係者以外立ち入り禁止!



## 9 鍵のかかったドアが守っているよ。

杉十小には門も塀もありません。何事もなければよいのですが、だれでもどこからでも入れることは、やはり心配です。そこで、杉十小では、外から入れるドアは、原則として鍵をかけています。杉十小は、校舎と体育館・プールが別棟になっています。体育館・プールは外から直接入れることもできますが、そのためには、校舎1階と体育館の入り口の2ヶ所の鍵を常時開けておく必要があり、安全ではありません。そこで、杉十小では体育館・プールへの行き来は、子どもも大人も原則として2階の渡り廊下を通ることになっています。保護者・地域の皆様もご協力ください。



## 7 電子錠が守っているよ。

杉十小には玄関が3つあります。子どもと大人の玄関、ことばの教室の玄関です。保護者や地域の方々が来校するときは、大人の玄関(校庭側)を使います。すべてのドアが日常的に施錠されています。一番右側のドアには電子錠がかかっていて、来校者を確認すると職員室や事務室、主事室からも解錠することができます。来校された場合は、大人の玄関の右壁のインターフォンを押して、所属や名前を教えてください。保護者の方は来校者証を示してくださいと分かりやすいです。

また、杉十小にはことばの教室(言語障害通級指導学級)があります。他校のお子さんが通級で来校するときは、ことばの教室の玄関を使います。ことばの教室の玄関も、常時電子錠がかかっています。通級児童がインターフォンを押し、ことばの教室の教員が確認して解錠してから入ることになっています。

## 10 杉十サポーターが守っているよ。

常時ドアに鍵がかかっていると、子どもたちが体育館の時間や休み時間に校庭に出られません。そこで、杉十小の受付には杉十サポーターがいて、子どもたちが校庭に出たり校舎に戻ったりするとき、ドアや鍵をあげたり開めたりしてしています。学校公開などで長時間ドアを開けておくときは、ドアの近くに立って見守っています。杉十サポーターは、地域の方々ボランティアで担ってくださっています。(詳しくは裏面をご覧ください。)



いろんな工夫があるんだね!



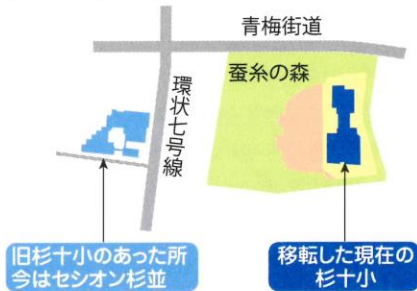
クエスチョン アンド アンサー  
疑問に答えます!!

**Q** そもそも、どうしてこんなオープンな学校施設ができたのですか?

**A** 杉十小は「学校防災公園構想」のもとに建設されました。大地震や大きな火災が起こったとき、区民が避難できるのが防災公園です。そのため、蚕糸の森公園、杉十小には、ゲートシャワーや放水銃等のさまざまな防災設備があり、万一の場合は避難することができる施設として建設されました。昭和50年代に杉並第十小学校建設協議会をはじめとして多くの方々が検討をされ、昭和61年に梅里1丁目から現在の場所に移転してきたという経緯があります。



環状7号線沿いにあった頃の杉十小の校舎



**Q** 入口に鍵をかけることになったのは何がきっかけですか?

**A** 杉十小は、昭和61年に現在の場所に移転してから、名実ともに開かれた学校でした。入口のドアに鍵はかかっていませんでした。しかし、平成13年に大阪で多くの小学生が校内に侵入してきた人の行為によって命を落とす事件がありました。このことから、校内の子どもたちの安全を守る取組について再度検討することになりました。

**Q** 杉十小の受付に「杉十サポーター」さんがいるのはどうしてですか?

**A** 子どもたちの安全を守るために、平成16年から杉十サポーターによる見守りが開始されました。当時の伊東富士雄校長の呼びかけに当時のPTAの皆様や地域の方が応えてくださり、杉十サポーターという組織ができました。それから17年目になりますが、現在も20名の方が交代で務めてくださっています。朝9時30分から15時30分まで昇降口近くにて昇降口のドアの解錠施錠を行ったり、来校者の対応をしたりして、児童の安全を守ってくださっているのです。



安全への取り組みをわかりやすく紹介!!

杉十小オリジナル デジタル紙芝居が **完成!**

まもなく

門も扉もない杉十小で  
子どもたちの安全を守るために

DIGITAL 紙芝居



杉十小で取り組んでいる安全への取り組みが、誰にでもわかるようにするために、杉並第十小学校 学校運営協議会(杉十CS)でデジタル紙芝居を製作中です。これからも安全な学校であり続けることができるように、という願いを込めて作っています。お楽しみに。



杉並区立杉並第十小学校・学校運営協議会 監修:伊東富士雄・河野庄次郎・小池 曙・山口 京子

〒166-0012 杉並区和田3丁目55番49号 TEL.03-3313-1364(代表) FAX.03-3313-4961

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi10shou/>